



山頂は大勢の登山者でにぎわいました

県最高峰の山にぎわう

岩手山山開き

日本百名山の一つである岩手山(2,038m)で7月1日に、十和田八幡平国立公園八幡平地域指定60周年記念山開きが行われました。焼走り登山口付近の山開き式には、関係者ら145人が参加。安全祈願後、登山者は山頂を目指して爽やかな汗を流しました。山頂では、本市と滝沢市、雫石町の代表者がピッケル交換と万歳三唱で登頂を祝いました。安比高原在住の廣瀬弓子さんは「念願の岩手山初登山。登頂でき、素晴らしい景色に出合え嬉しい」と喜びを語りました。

七時雨から新緑を望む

七時雨山山開き

新日本百名山や岩手の20名山に数えられる七時雨山(1,063m)の山開きが6月5日、西根寺田登山口で行われました。

登山前の出発式には、関係者ら約40人が参加。登山者の安全を祈願する神事を執り行った後、山頂を目指して登山者たちが入山。すがすがしい晴天の下、一行は七時雨の自然を楽しみました。山頂では、市山岳協会から登頂者にお菓子の振る舞いと記念の絵馬が配られ、万歳三唱で山開きを祝いました。



雄大な景色を背に山頂を目指す登山者たち

人と車多数集う焼走り

2016熔岩流まつり&旧車ミーティングin八幡平

2016焼走り熔岩流まつり&第9回旧車ミーティングin八幡平が6月19日、岩手山焼走り国際交流村特設会場で開催されました。

熔岩流まつりでは、恒例のこぶたレースや大更小学校の吹奏楽演奏会、歌謡ショーなどが行われ、多くの観客でにぎわいました。旧車ミーティングには、県内外から約200台の名車が集合。訪れた人たちは、エンジンルームなどをのぞき込みながら、オーナーと車談義に花を咲かせました。



子ブタを走らせようと一生懸命促す子どもたち

初体験の陶芸を親子で

田頭小学校PTA親子陶芸教室

田頭小学校PTA親子陶芸教室が6月14日、同校で行われました。

当日は、5年生13人とその父母が参加。平館で窯を開き、陶芸活動を行っている田村まり氏指導の下、参加した親子は、陶芸用粘土を用いて、手びねりという手法で陶芸を体験しました。伊藤かよ子・栗美亜親子は「なかなか体験することがない陶芸を親子で楽しめて良かった。作品の出来上がりが待ち遠しい」と、笑顔で感想を述べました。



和気あいあいと陶器づくりを楽しむ親子たち

地域の歴史後世に伝承

鹿角街道浄法寺道標柱制作

鹿角街道浄法寺道標柱制作が、6月18日、中佐井地区内神明社の境内で行われました。

当日は、中佐井地区住民約10人が作業に従事。柱の素材として地域内の樹齢数十年といわれるクリの木を伐採し、製材、面取り、磨きなどの加工を施しました。漆を使用して文字を入れ、設置まで住民が全ての工程を自分たちで手掛けました。鹿角街道は市の歴史的資源。作業の参加者は「地域内の歴史を後世に伝えていきたい」と、作業に精を出しました。



標柱づくり後に設置位置を確認する中佐井地区住民

美しい花々安代を彩る

あしろhana花フェスタ2016

「あしろhana花フェスタ2016」が6月17日から19日までの3日間、荒屋新町商店街などで開催されました。

期間中は、同商店街周辺のガーデニング愛好者宅4軒の美しい庭園が一般公開されるとあって、市民をはじめ、遠方からも多くの見学者が来訪。色鮮やかな草花に囲まれながら、写真撮影やガーデニングに関する話で盛り上がりました。また、庭園を巡ってスタンプを集める「お花めぐりスタンプラリー」が来訪者を一層楽しませていました。



齋藤富子宅の庭園を見て楽しむ来訪者

すなっぷギャラリー



漆・陶器・木工・金属を素材とした美しい花器の展示会を開催(6月18日、安比塗漆器工房)



登山ガイドと談笑しながら、楽しく裏岩手連峰を縦走(6月19日、裏岩手連峰開山祭)



市内でも珍しい仏前結婚式が鷺連寺で執り行われました(6月11日、葛家・濱井家結婚式)



認知症支援のための傾聴講座を開催(6月4日、西根地区市民センター)



「元気に育ってね」と安比川へアユの稚魚を放流する安代小学校の児童たち(6月8日)